

スポット
ニュース

主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道の掘削

瑞浪超深地層研究所では、地上から100㍍地点で主立坑（内径6.5㍍）と換気立坑（内径4.5㍍）をつなぐ水平の坑道の掘削を行いました。この水平の坑道は、主立坑と換気立坑の両側から発破により掘ります。坑道の大きさは高さ約3㍍、横幅約3㍍の馬蹄型で、全長約30㍍になります。また、坑道の中央部分には避難所のスペースがあります。なお、水平の坑道は深さ100㍍ごとに掘削する予定であり、坑道の壁面に分布する岩石中の割れ目の観察、ボーリング孔を用いた地下水の水圧や水質の測定、岩盤への力のかかり具合の測定などの調査研究を行います。



水平の坑道のイメージ図

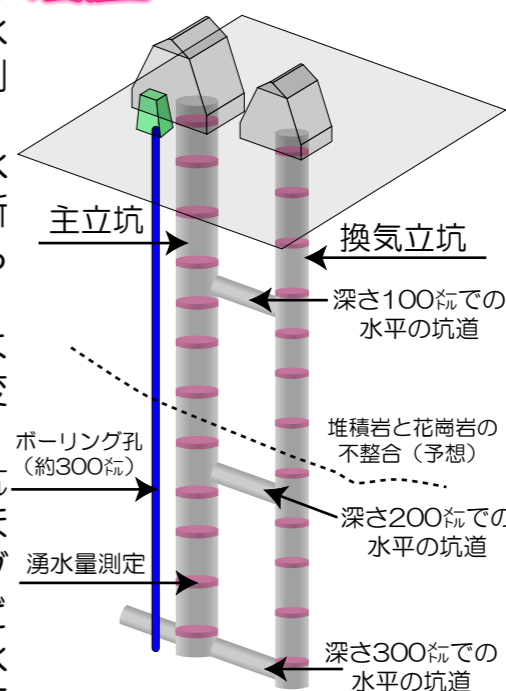


水平坑道の貫通後の様子（主立坑側から撮影）

地下水の観測のためのボーリング孔の掘削と観測装置の設置

瑞浪超深地層研究所では、地下水の観測のためにボーリング孔の掘削と観測装置の設置作業を行います。この作業は当初、深さ100㍍の水平の坑道から行う予定でしたが、断層による影響を避けるため地上から行うこととしました。

この研究は、研究坑道の掘削によって岩盤中の地下水がどのような変化をするのかを調べます。掘削は、主立坑建屋の西側に深さ約300㍍のボーリング孔を主立坑に沿ってほぼ垂直に掘ります。そのボーリング孔で、割れ目や地下水の水みちなどを調べる試験を実施した後や地下水の水圧を観測する装置を設置し水圧の長期観測を行います。



《ボーリング孔の概要》

おもしろ科学館 2005inみずな

今年も「おもしろ科学館2005inみずな」が開催されます。

東濃地科学センターも深地層コーナーを設け、瑞浪超深地層研究所の現場の見学会も実施する予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

会場：瑞浪体育館
日時：7月22日(金)

7月24日(日)
(10:00~16:00)

主催：中部経済産業局・瑞浪市

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】（6月20日現在）

- ①主立坑及び換気立坑の掘削工事（主立坑：100.2㍍ 換気立坑：115.6㍍）
- ②主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道（予備ステージ）の掘削工事
- ③地下水の観測のためのボーリング孔の掘削
- ④深いボーリング孔（MIZ-1号孔）での水圧などの長期観測
- ⑤浅いボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺周辺井戸での水位観測
- ⑦気象観測及び地下水位観測
- ⑧地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご意見・ご要望などございます方、また瑞浪超深地層研究所の見学をご希望される方は、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

【リ-ダ-ヤル】 0120-333-112 【FAX】 0572-66-2124 【E-Mail】 tgc@jnc.go.jp

東濃地科学センター 地域交流課（青木、木内、福島）

《東濃地科学センターホームページ》 <http://www.jnc.go.jp/ztounou/index.htm>

瑞浪国際地科学交流館ミニギャラリーの展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、「土仏と木彫の小品二人展」の作品を展示いたします。是非、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運びください。

【期 間】平成17年7月4日～平成17年7月31日 10:00～21:00

【場 所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8

来月の主な作業内容（7月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑及び換気立坑の掘削工事
- ②立坑掘削時の発破の振動を利用した地下を調べる研究
- ③地下水の観測のためのボーリング孔の掘削と観測装置の設置
- ④地下水の採水調査のためのボーリング孔の掘削と採水装置の設置（水平の坑道内）
- ④深いボーリング孔（MIZ-1号孔）での水圧などの長期観測
- ⑤浅いボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺周辺井戸での水位観測
- ⑦気象観測及び地下水位観測
- ⑧地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測